

ChatGPT等に対する各国の個人情報保護当局の対応

ドイツ

ChatGPTを調査中
(4/25報道)

EU

4月13日、EDPB（欧州データ保護会議）
がChatGPT対策のタスクフォースを設置

カナダ

4月4日、調査開始を発表

フランス

ChatGPTを調査中
(4/12報道)

韓国

OpenAI社と連絡を取り
合い、違反等がないか確
認中（4/18報道）

スペイン

4月13日、調査開始を発表

英国

4月3日、生成AIの開発者等
が留意すべきポイントを発表

イタリア

- 3月30日、ChatGPTの国内利用の一時停止を命令。調査開始を発表。
- 4月5日・11日、OpenAI社と会議。
- 4月12日、OpenAI社が取り組むべき是正措置を発表。
- 4月28日、OpenAI社による改善措置を受け、ChatGPTの国内利用の一時停止命令を解除。引き続き、残る是正措置の実施を求めるとともに、調査を継続（EDPBタスクフォースの下での調査を含む）。

ChatGPTに対するイタリア当局の対応

【これまでの経緯】

- イタリア当局は、本年3月30日、ChatGPTについて、EU一般データ保護規則（GDPR）等に違反する可能性があるとして、国内利用の一時停止を命令、調査を開始。
- イタリア当局は、4月5日・11日、OpenAI社と対応を協議。翌12日、OpenAI社が取り組むべき是正措置を発表。
- 欧州データ保護会議（EDPB）は、4月13日、ChatGPTに関するプライバシー保護への懸念を検証するためのタスクフォース（TF）を立ち上げた。
- OpenAI社が4月30日までに是正措置をとれば、利用の一時停止は解除される見込みであった。



【最新動向（4月28日付けイタリア当局公表）】

- イタリア当局が要求したOpenAI社が取り組むべき是正措置を実施したことが記載されたレターを受領したこと、及び、**4月28日にChatGPTのイタリア国内利用の一時停止命令を解除したこと。**
- 引き続き、未実施の是正措置（以下のうち、④年齢確認システムの実装・⑤周知）の実施を要求するとともに、EDPBが立ち上げたTFの下でも、同社に関する事実確認を継続すること。

項目	OpenAI社に対する要求事項 (4月12日付けイタリア当局公表)	OpenAI社の対応状況（4月28日付けイタリア当局公表） (赤字部分は未実施)
① 情報 開示	ChatGPTのデータ処理ロジックやデータ主体の権利等の情報をウェブ上に公開し、サインアップの前に通知すること。	<ul style="list-style-type: none">• 同社は、ウェブサイト上で、欧州その他の地域の利用者・非利用者宛てに、以下の内容が含まれた通知文を公表した。<ul style="list-style-type: none">-アルゴリズムの学習目的でいかなる個人データがどう処理されるのか-全ての個人が上記学習目的の処理についてオプトアウトできること• 同社は、プライバシーポリシーの内容を充実させ、かつ、サービス登録前のサインアップページの段階からアクセスできる状態にした。• 同社は、イタリアにおける利用再開に際し、ウェルカムバックページを実装した。当該ページには、上記通知文及び改訂後のプライバシーポリシーへのリンクが記載されている。

ChatGPTに対するイタリア当局の対応

項目	OpenAI社に対する要求事項 (4月12日付けイタリア当局公表)	OpenAI社の対応状況（4月28日付けイタリア当局公表） (赤字部分は未実施)
② 法的根拠	<p>アルゴリズムの学習に利用者の個人データを用いることについて、当該本人の同意、または、正当な利益の目的を法的根拠とすること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 同社は、利用者向けの通知文において、正当な利益が法的根拠となる（そして、アルゴリズム学習のために処理がなされたとしても、データ主体のオプトアウト権に影響はない）ことを明らかにした。
③ データ主体の権利	<ul style="list-style-type: none"> 非利用者を含めたデータ主体に対して、誤って生成された個人データの修正（不可能であれば消去）が可能となるツールを提供すること。 非利用者に対して、個人データの処理に対し異議を述べるができるアクセスしやすいツールを提供すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 同社は、データ主体が、不正確な情報の消去を求めることができる仕組みを導入した。他方、同社は、現時点では、不正確な情報の訂正は不可能であると説明している。 同社は、非利用者を含む欧州のデータ主体が、アルゴリズム学習のための個人データの処理についてオプトアウトができるオンラインフォームを導入した。
④ 子どもの保護	<ul style="list-style-type: none"> サインアップ時の年齢ゲーティングシステムを直ちに導入すること。 また、13歳未満の利用者、親権者の同意のない13歳から18歳までの利用者を除外する年齢確認システムを本年9月末までに導入する計画を、5月中に提出すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 同社は、イタリアの利用者向けのウェルカムバックページに、利用者が18歳超であること、又は、13歳以上18歳以下でかつ親等の同意があることを確認するボタンを追加した。 同社は、サインアップページにおいてユーザーに生年月日を明記するよう求めることで、13歳未満年齢の利用をブロックするとともに、13歳以上18歳以下の利用者については親等の同意があることを確認することとした。 <p>⇒年齢認証システムの導入は未実施であり、イタリア当局が引き続き要請中。</p>
⑤ 周知	<p>5月15日までに、インターネット、テレビ、ラジオ等を通じて、アルゴリズムの学習に個人データを利用することについて周知すること。</p>	<p>⇒周知については未実施であり、イタリア国民に以下の内容を周知するキャンペーンの策定・実施について、イタリア当局が引き続き要請中。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの経緯 アルゴリズム学習のための個人データの処理についてイタリア国民がオプトアウトする権利